

【1年学年経営方針】

1 目標

- (1) 学年・学級などの集団の諸活動を通して、生徒相互の連帯感を育て、人間の尊厳と人権を尊重し、相手を思いやる心を養う。
- (2) 生徒会活動・学年活動・学級活動・部活動そして授業などを通して、自らの考えや思いを自信を持って表現できる生徒を育成する。
- (3) 生徒一人一人に、それぞれに適した進路を自らの力で選択できる能力を育成する。
- (4) 基本的な生活習慣の定着を図るとともに、計画的に学習に取り組む生徒を育成する。

2 経営方針

- (1) 本年度
 - ・自他の長所を認め合い、より良くなろうとする集団づくりに取り組む。
 - ・部活動への積極的な参加を促す。
 - ・基本的な生活習慣と家庭学習の定着を図り、自主的に学習する力を育てる。
- (2) 第2学年
 - ・自他の長所を認め合い、より良くなろうとする集団づくりに努める。
 - ・生徒会活動や部活動への積極的な参加を促し、活力ある学年づくりに努める。
 - ・基本的な生活習慣と家庭学習の定着を図り、確かな学力の育成に努める。
- (3) 第3学年
 - ・中学校生活の最高学年として学習や部活動、生徒会の諸活動に積極的・意欲的に取り組む姿勢を育てる。
 - ・生徒一人一人が輝いて活動できるよう、認め合い支え合う集団作りに努める。
 - ・実りある将来に向けて、それぞれにあった進路を選択・決定し、その実現ができるよう支援する。

3 具体的な指導・支援

- (1) 学習指導
 - ・わかる授業に努め、基礎学力の定着・充実を図る。
 - ・生徒相互の学び合いを大切に、「個々の生徒を活かす」授業を推進する。
 - ・家庭学習の具体的方法を例示するとともに、自ら学ぶ集団の育成に努める。
- (2) 生徒指導
 - ・基本的な生活習慣の定着を図り、自主的に行動できる力を養う。
 - ・一人一人が自分らしさを大切にするとともに、人それぞれの「らしさ」を認め合える集団作りに努める。
- (3) キャリア教育
 - ・自分の将来や働く事への関心を高め、実際に進路の希望や計画を持てるように指導する。
 - ・進路実現のために自己理解や自己伸長に努めようとする態度を育成する。
- (4) 特別活動
 - ・学級活動や生徒会活動、各種行事を通してリーダーを育成し、諸活動に積極的に参加する意欲を育てる。
- (5) 学年会
 - ・毎日の学年打ち合わせを有効活用し、教職員相互の共通理解を十分図る。
 - ・常に学年全体の生徒を視野に入れながら指導にあたる。
 - ・校訓「らしくあれ」を念頭におき、教師自らも教師らしい態度で生徒に接する。